

北大生物の会・東京

第43回談話会のご案内

下記の日程で「北大生物の会・東京」談話会を開催致します。
会員の皆様、会員以外のご参加いただけます。
皆様お誘い合わせの上、是非ご参加ください。

本会は、北大で生物学系の分野を学んだ卒業生たち（主として農学部、理学部、水産学部・卒）が、広範囲な分野のテーマについて、互いに啓蒙しつつ交友を深めるために、同士を募り、1995年に発起されました。毎年春と秋に談話会を開催しています。

今回は福地 光男 先生をお招きしてお話を伺います。先生は国立極地研究所において南極海のプランクトンの研究に携わってきており、「北大で学んだ浮遊生物学」というタイトルでお話を頂きます。プランクトンの役割、海洋生態系と陸上生態系の相違や南極海のプランクトンの観測・研究などについて解説して頂きます。とくに先生は長年南極観測事業に携わり、1991-1992年は越冬隊長も務められました。極地での自然や様々な体験話なども併せて、極めて貴重で興味深いお話が伺えるものと楽しみにしております。

日時	2017年7月8日（土曜日）14時～18時	
場所	東京医科歯科大学・食堂棟1階レストラン「あるめいだ」 Tel: 03-3811-9607	
	*地図は2ページをご覧ください	
	〒113-8510 東京都文京区湯島 1-5-45	
	【アクセス】JR「御茶ノ水」駅、東京メトロ丸ノ内線「御茶ノ水」駅、 東京メトロ千代田線 新御茶ノ水駅	
談話会講師	福地 光男 先生（国立極地研究所・総合研究大学院大学名誉教授）	
演題	「北大で学んだ浮遊生物学」	
	*講演要旨および演者略歴は3ページ以降をご覧ください	
会費	無料	
ご連絡先	庶務幹事：祖父尼俊雄（院理・修（動物）S38 修了）	
	E-mail: toshi_sofu@jcom.zaq.ne.jp	

*談話会講演の後に連絡・報告を兼ねた定期総会があり、16時30分より18時まで講師の先生と直接お話し出来る場として懇親会を行います（会費：5,000円、会場は同じ「あるめいだ」です）。懇親会への参加をご希望の方は、メールにて事前にご連絡くださいますようお願い致します。

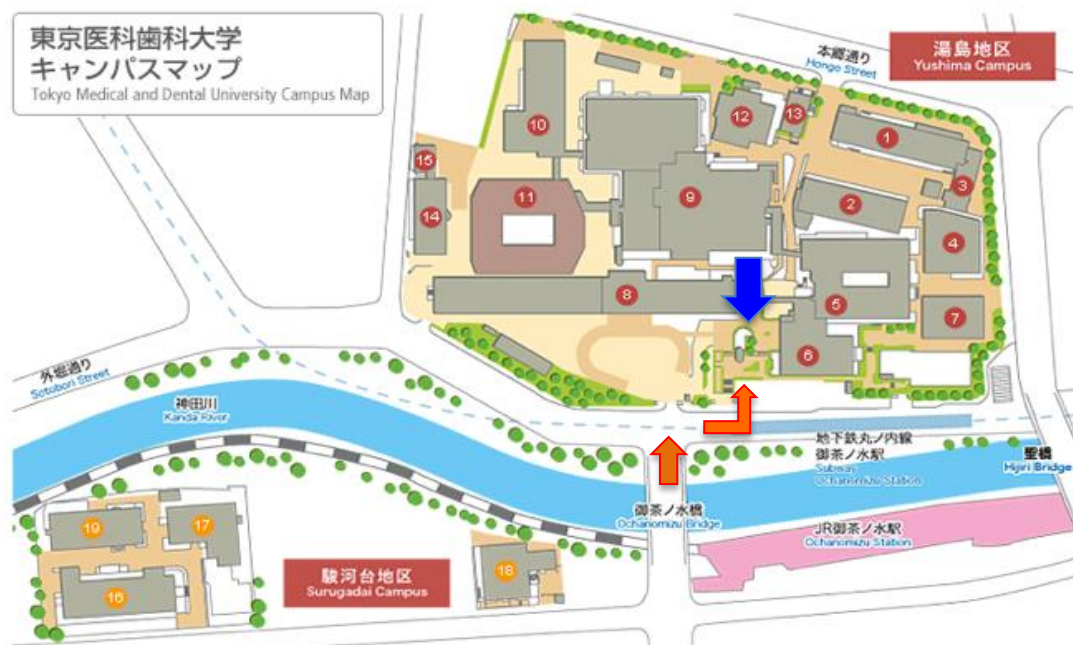
ご不明な点がございましたらご連絡ください。皆様のご参加をお待ちしています。

<次ページにつづく>

これまで過去3年間（6回）の談話会では、下記のような内容で講演をいただけてきました。

- 第37回談話会 「蓑亀の秘密」 講師：宮地 和幸 氏（2014.6.15）
- 第38回談話会 「動物園と野生生物の保全」 講師：田畑 直樹 氏（2014.11.1）
- 第39回談話会 「水族館の哺乳類」 講師：荒井 一利 氏（2015.6.20）
- 第40回談話会 「ペットの加齢と診断 ～動物病院における会計履歴から見えてくること～」
講師：田中 紀子 氏（2015.10.24）
- 第41回談話会 「視覚生理学の研究史と無脊椎動物の視覚」 講師：片桐 康雄 氏
（2016.6.25）
- 第42回談話会 「生き物と放射線」 講師：村松 晋 氏（2016.10.24）

次回以降の談話会につきましてもご案内させていただきます。



御茶ノ水橋を渡って外堀通りからの門を入ると、階段（スロープ）を上がったところに断面が楕円形の建物（食堂棟）があります（青の矢印）。その入口から地下に降りてください。

レストラン「あるめいだ」地図

<講演要旨および演者略歴は3ページ以降をご覧ください>

北大で学んだ浮遊生物学

福地 光男 (国立極地研究所・総合研究大学院大学名誉教授)

栃木県の海なし県で高校時代までを過ごし、昭和 41 年に北大水産類に入学後、ひよんなこととで故元田茂教授と出会い、浮遊生物学（遊ぶの漢字はさんずいであった）の基礎を学んだ。英語では” Planktology” であり、プランクトン学になる。

談話会では以下の内容を話題提供する。

- ・冒頭に自己紹介を兼ねて元田先生との出会いに始まるプランクトン学の基礎を学んだ経緯、並びにプランクトンの一般的な紹介を DVD により行う（持参する PC にて再生予定であるが、再生困難な場合はスライドで紹介する）。この DVD は英国プリマスにある The Sir Alister Hardy Foundation for Ocean Science (SAHFOS) が作成したものであり、Alister Hardy 卿は元田先生と同年代の英国プランクトン研究者である。
- ・海洋生態系における低次生産者としてのプランクトンの役割を紹介し、合わせて海洋生態系と陸上生態系の相違について説明する。
- ・北大水産学研究科修了後、昭和 50 年（1975 年）に国立極地研究所の助手に採用され、平成 24 年（2012 年）に退職するまでの 37 年間、日本南極地域観測事業に参加し、南極海のプランクトンの研究を行った。当初は定常観測としての昭和基地への往復航路上のプランクトン観測を担当した。その後は更に国際的な南極海洋生物研究計画に参画した。37 年間の南極海プランクトン観測・研究を紹介する。また、昭和基地の越冬観測に参加した折のプランクトン観測・研究や越冬観測の苦労話を紹介する。
- ・また、アラスカ大学やカナダ・ラバル大学との北極海洋生物共同研究を紹介し、最近の極地研・北大・JAMSTEC による北極研究の現状を紹介する。
- ・これら南極や北極の国際共同観測を通して明らかになったことや今後の課題について、最近出版した「南極海に生きる動物プランクトンー地球環境の変動を探るー」（成山堂書店、平成 26 年 3 月発行、ISBN978-4-425-57081-2、定価 2,400 円（税別））を紹介しながら、説明する。

〔講師略歴〕 福地 光男 (ふくち みつお)

昭和 41 年 3 月 栃木県立宇都宮高校卒業

昭和 45 年 3 月 北海道大学水産学部卒業

昭和 47 年 3 月 北海道大学水産学研究科修士課程修了

昭和 50 年 3 月 大学院水産学研究科博士課程修了退学

昭和 51 年 9 月 北海道大学大学院水産学博士授与
昭和 50 年 4 月－平成 24 年 3 月 国立極地研究所勤務
平成 24 年 4 月－平成 26 年 3 月 国立極地研究所特任勤務
平成 24 年 4 月－平成 25 年 9 月 東京海洋大学特任勤務
平成 25 年 10 月－平成 26 年 3 月 北海道大学東京オフィス学術研究員（東京オフィス所長）
平成 26 年 4 月－平成 28 年 3 月 北海道大学東京オフィス特任教授（東京オフィス所長）

南極観測隊：

アルゼンチン南極観測隊 交換科学者（夏隊）（1975/76 年）
第 18 次日本南極地域観測隊員（夏隊）（1976/1977 年夏季）
第 20 次日本南極地域観測隊員（夏隊）（1978/1979 年夏季）
第 23 次日本南極地域観測隊員（越冬隊）（1981/1972 越冬/1983 年）
第 27 次日本南極地域観測隊員（夏隊）（1985/1986 年夏季）
第 33 次日本南極地域観測隊長・越冬隊長（越冬隊）（1991/1992 越冬/1993 年）

南極観光クルーズ講師：

2012 年 1 月 読売旅行主催・南極半島海域
2013 年 1 月 読売旅行主催・南極半島海域